

第416回番組審議会

1. 開催日時 平成18年12月19日(火) 午後1時30分～
2. 開催場所 テレビ岩手 6階大会議室
3. 委員の出席 委員総数 13名
出席委員 9名

出席委員	委員長	藤元 隆一
	副委員長	橋田 純一
	委員	和田 利彦
	委員	高橋 三男
	委員	佐藤 晴久
	委員	早瀬 藤二
	委員	増川 博之

欠席委員	委員	梅村 俊男
	委員	帷子 利明
	委員	千葉 則茂
	委員	西郷 喜代子
	委員	嶋村 正
	委員	上野 克幸

社側出席者	中野 士朗 (代表取締役会長)
	矢後 勝洋 (代表取締役社長)
	新沼 栄喜 (取締役副社長)
	石井 修平 (専務取締役)
	阿部 孝夫 (常務取締役)
	高橋 甫和 (取締役技術局長)
	千葉 正範 (営業局長)
	淵沢 行則 (制作局長)
	鈴木 直志 (報道局専任局長)

事務局	青山 尚之 (編成局長)
	高橋なおみ (編成局編成部)

4. 議 題

1. 今年 1 年の番組を振り返って
2. その他ご覧になった番組についてのご意見

5. 資 料

資料として以下のものを配布

- ・平成 18 年自主制作番組一覧表
- ・視聴者からのご意見
- ・月間民放
- ・BPO 報告

6. 議事の概要

社側説明

番組審議会の議題「今年 1 年の番組を振り返って」は、レギュラー以外の単発の自主制作番組一覧を添付しておりますので、そちらをご覧になりながら、ご意見をお願い致します。

委員側意見

- ・自主制作番組本数が多いという評価。他局との比較や、制約などあれば教えて欲しい。
- ・1 つのテーマを長期間取材する姿勢が、とても素晴らしい。今現在長期取材をしている題材があれば教えて欲しい。
- ・「どこ行こ」等の番組は、会社として行き過ぎを抑えているというところは評価できるが、番組内容がバラエティ化してきたのではないか。
- ・天気予報で、「健康と天気」というコーナーの企画意図などがあれば教えて欲しい。
- ・番組の要望として、岩手の偉人の紹介があれば良い。ライブドアの熊谷副社長を取り上げた問題があったが、前向きな取材の中には慎重な態度が必要ではないか。
- ・総じて会社側の取り組みの姿勢は、非常に評価出来た 1 年だったのではないか。

7. 審議内容

別載のとおり

8. 審議機関の答申又は改善意見に対してとった措置及びその年月日

特記事項はないが、キー局及び関係局、関連部署に議事録を配布するなど、関係者に審議の内容を伝えた。

9. 審議機関の答申又は意見の概要を公表した場合における

その公表の内容、方法及び年月日

- ・ 自社制作番組「あなたと歩むテレビ岩手」
(平成 18 年 12 月 26 日(火)午前 11 時 50 分～11 時 57 分放送)で、審議の概要を放送。
- ・ 支社・支局に議事録を設置
- ・ 当社のインターネットのホームページで議事録を公開。

〈議事の内容〉

事務局 番組審議会の議題「今年1年の番組を振り返って」は、レギュラー以外の単発の自主制作番組一覧を添付しておりますので、そちらをご覧になりながら、ご意見をお願い致します。それでは委員長、宜しくお願いします。

委員長 それでは、ご意見をお願いします。

委員 レギュラーの自主制作番組以外に100本近く番組を作っているのは、素晴らしい。特に「東北サミット」を番組にしたが、アナウンスや字幕が入り、合間には各都道府県の風景などが入って、会場で聞いていた時よりもわかりやすかった。1年間の番組が見れるライブラリーがあるといいと思う。

番組を見ていて気になるところは、情報番組が多いが、日曜の『ピノキオ』などで、ナレーションが「きらめいて」「ゆらめいて」など詩的な言葉が多用されている。レギュラーの情報番組と差別化を図る意識が働くのかもしれないが、さらにバリエーションのある表現であった方が良いのではないか。時に少し違うと感じる時がある。

今年は、ニュースのアナウンサーの変更、スタジオセットの変更があったが、いずれも違和感なくいい調子を維持していると思う。ニュースで言えば、アナウンサーの2人は、語り口が非常に穏やかで、且つしっかりしていて、見ていて信頼感が持てる。来年も是非良い番組を放送して欲しい。

委員 自分が見た番組の中で、NNNドキュメント「ガンコ親父と7人の子どもたち」が、非常に印象に残った。岩手県の厳しい環境の中で、非常にたくましく生きている姿、そして家族の絆を取材し、素晴らしい番組に構成されたと思う。岩手でなければ取材できない対象を選び出し、それを12年間という長い期間映像として記録に残すという制作方針、姿勢が非常に好ましい印象を受けた。私は、番組審議会で「岩手の人が中央や世界で活躍している姿を紹介してもらおうと、岩手の人間として元気が沸く」ということを話した事があるが、岩手の中で活躍している、あるいはたくましく生きている姿を紹介することも、岩手に住む人間としては、うれしいことだと感じた。そういう面でも好感が持てた番組だった。

毎週土曜の「どこか行こうよ」をよく見るが、最近少しバラエティ番組の色合いが強くなってきた。朝の“どこに行こう”と期待している側からすると、岩手県内、北東北の行ったことがない場所や人を紹介して欲しい。

岩手県の偉人の紹介も番組にしていって欲しい。

委員 この一年の番組審議会のメモを見ると、委員の皆様から「番組のねらいは何か？」
「対象の人・場所を取り上げた理由は？」という問いが多かった。また、全体的に自然・民族的な事物、伝承する姿など、良く捉えられている。映像もきれいで、岩手から発信する番組としてよく編成されているという意見も多かった。美しい郷土、美しい岩手を制作スタッフが、十分理解し練り上げていると感じた。
一方、昨年「岩手から活躍している人」として、ライブドアの副社長を取り上げているが、その後事件となりました。新しいことを取り上げる際は、慎重な対応が必要だということを、一番考えさせられた。

ニュースをはじめとするレギュラー番組は、全体として良い番組で、出来るだけ続けて欲しい。

委員 「ニュースプラス 1 いわて」は、全国版の暗いニュースに比べて、身近な明るい話題や特集で地元のニュースを流して貰うと、心が温まるような感じがする。今後も出来るだけ明るい話題を選んで放送して欲しい。

「やぶかわ物語」「ガンコ親父と7人の子どもたち」など、粘り強く取材を続けた成果が実を結んだすばらしい番組だったと思っている。かけた時間とかけた手間とが番組に重厚感や本物感が出ていた。こういった正直で誠実な中身の番組を放送することは、テレビ局のひとつの良心なのかなあとと思っている。今現在長期取材を続けている素材があるのか教えて欲しい。

委員 岩手の食・文化・観光などを紹介してもらい、非常に心地よく観れて、出かけるようになった。今年1年を振り返ると「ガンコ親父と7人の子どもたち」が感動を受けた素晴らしい番組だった。また、先ほど出ましたが、「どこか行こうよ」が、少し方向が違ってきていて、前のほうが良かった。天気予報で、「健康と天気」というコーナーがあり、健康に対する意識が高まるという点からも、非常にいい企画だと思う。

委員 資料の自主制作一覧について述べたい思う。

- ① レギュラーの他に月に7本ぐらい制作している。
- ② 9・10・11・12月が10本を越えていて、6月が一番少なく、12月が一番多い。
- ③ テーマ別で分類すると、政治経済・産業2本／教育・文化・芸能・芸術・スポーツ24本／社会・生活・環境・福祉19本／地域社会・地方自治30本と一番多い。
- ④ 放送時刻別だと、午後1時から6時までの65本、午前9時から12時までの32本。曜日別だと土日が多い。日別だと20日すぎがほとんど占めている。

全体の印象は、一番心配している行過ぎた娯楽はなく、誠実に素材を丁寧に取り上げていく姿勢があるが、局としての主張は出来るだけ抑えている感じがした。

委員 まとめると

- ・自主制作番組本数が多いという評価。他局との比較や、制約などあれば教えて欲しい。
- ・1つのテーマを長期間取材する姿勢が、とても素晴らしい。今現在長期取材をしている題材があれば教えて欲しい。
- ・「どこ行こ」等の番組は、会社として行き過ぎを抑えているというところは評価できるが、番組内容がバラエティ化してきたのではないか。
- ・天気予報で、「健康と天気」というコーナーの企画意図などがあれば教えて欲しい。
- ・番組の要望として、岩手の偉人の紹介があれば良い。ライブドアの熊谷副社長を取り上げた問題があったが、前向きな取材の中には慎重な態度が必要ではないか。
- ・総じて会社側の取り組みの姿勢は、非常に評価出来た1年だったのではないか。

社側 「あるがままのものをテレビ番組で放送して、付加価値が高まった」というご意見は、非常に有難いと思います。あるものを取材して、その場に居るよりも、分かり易いという番組作りを目指して生きたいと思う。

長期取材に関しては、「ガンコ親父」は続いておりますが、他は毎日のニュースの企画コーナーで取り上げたもので、将来ドキュメント（全国放送）に出来るものは、随時追加取材をして番組にしております。今は、紫波町でNPO法人を立ち上げて、捨て犬と捨て猫を保護している方がいらっしゃって、それについては取材を続けています。

ライブドアの問題については、当時脚光を浴びていたこともあり取材したが、その後事件となり、やはり自社の検証能力を高めなければいけないと思います。

天気予報は、毎週木曜日に「健康と天気」というコーナーを放送していますが、県内の民放とNHKの中で、気象予報士を専属に契約しているのは弊社だけなので、特色を出して、続けて行きたい。

社側 レギュラー、単発の自社制作番組数は、他社と比較しても相当本数が多いと言えるかと思います。中期取材の取り組みは、年に数本は1年間位のスパンで捉えています。例えば「ナビゲーター」は、年間6本のシリーズで放送していますが、ほとんど1年かけて取材しています。

偉人の紹介は、弊社でも何度も放送しておりますが、日頃の日常活動で、新しい視聴者に向けて、常に新しい番組は作っていかなければならないということ意識してまた取り上げて行きたいと思っています。

「どこ行こ」が、バラエティ化してきたとのご指摘がございましたが、この番組も5年目に入り、若い視聴者にもアピールをしようと『部活応援』や『ボウリング』の企画を加えてきました。しかし週末の生放送番組なので、基本は週末の

行楽情報をお伝えするという原点に立ち返って行きたいと思います。

社 側 局の意見が希薄だというご意見がございましたが、放送法で一方向的な考えを視聴者に押し付けることが出来ないということがございまして、公正・公平に情報を伝えるということになっております。報道も制作も努力を続けて行きたいと思っております。

県内では、レギュラー・単発を含め、自主制作番組はテレビ岩手が圧倒的に多いと思います。各局編成しているニュースや情報番組のほか、弊社では夕方の「5きげんテレビ」、日曜のニュース、さらに単発番組など、自社制作比率も他局を圧倒しています。番組を制作して地域社会に貢献しようという姿勢で編成しています。

委員長 他に何かありますでしょうか。では、事務局にお返しします。